

報道関係者各位  
ニュースリリース

2018年5月28日  
株式会社横浜医療科学研究所

## 医師自身が経験に基づき作成した 症例データを集めた医療情報サービスをオープン

横浜市立大学発ベンチャー株式会社横浜医療科学研究所（本社：横浜市 代表取締役：君塚裕康 以下横浜医療科学研究所）は、株式会社 mediba（本社：東京都渋谷区 代表取締役：海本 桂多 以下 mediba）と共同で、医療情報サービス「Open Doctors」を開始しました。



### 「Open Doctors」とは

病気に関する基本的な情報のほか、病気を診断された方に知っていただきたい、年齢別・ステージ別の症例データ、病気の型・ステージ・種類、それに合わせた治療方法などの治療詳細データを、医師がオリジナルで作成しています。医師から提示された治療方針が自身に合っているかどうか、患者自身で考え、医師と相談のうえ、意思決定することをサポートする医療情報サービスです。

<アクセス方法>

<https://opendoctors.jp/>（PC・スマートフォン・タブレットから）

### 大学教授らの医師が監修。「症例」に特化した情報を提供。

「Open Doctors」は医師と患者（及びその家族）との間にある、医療情報の差（インフォメーションギャップ）を解消し、患者と医師とのコミュニケーションを支援することを目的とする医療情報サービスです。前東京女子医科大学教授の菅貴宏氏、横浜市立大学教授の石川義弘氏ら医師の監修のもと、医師自身の経験をもとにした症例や治療データを主なコンテンツとして提供いたします。リリース時は約100の症例データを掲載。例えば「脳梗塞」という診断をされたとき、Open Doctorsを見ればその症状や治療例などを、具

体的に知ることができます。

## 医師と患者を、病気に一緒に立ち向かうイーブンパートナーに。

医師の口から伝えられる情報は、たとえ医師にとっては当たり前であったとしても、初めてその病気にであう患者やその家族には理解が難しく、またその不安を書籍やインターネットなどで調べても逆に不安を大きくしまうような例も。医師にとっては当たり前の治療方法が患者にとっては当たり前ではない、症例こそが患者の不安解決に繋がるのではないか、その観点から「Open Doctors」は症例にフォーカスを当てました。ひとつの病気に対して年齢やステージの違う複数の症例を知ることができ、患者やその家族が病気の状態や治療の目的についての理解を深めることで、医師と患者（及びその家族）が同じ目線で同じ目的に向かって治療を進められるのではないかと考えています。

### ▼脳梗塞の症例や治療方法の具体例



The screenshot shows the Open Doctors website interface. At the top, there's a navigation bar with 'トップ', '症例と治療', '病気をまなぶ', '医師コラム', 'マンガ治療記', and 'Open Doctorsとは'. Below the navigation, there's a main heading: '薬で溶かした脳の血栓。できた原因は心房細動?' (Medicine dissolved the brain thrombus. The cause was atrial fibrillation?). Underneath, there's a patient profile: '病名: 脳梗塞 #1 年齢: 60代~ 性別: 男性' (Disease: Stroke #1 Age: 60s~ Gender: Male). A table of contents is visible, listing: '患者プロフィール', '受診までの経緯', '診察・検査', '診断・治療方針', and '治療の経過'. Below the table of contents, there's a section for '患者プロフィール' (Patient Profile) with text: '76歳の男性。妻と2人暮らし。高山と心筋梗塞を指摘され、ここ数年近所のクリニックにかかっている。' (76-year-old male. Lives with his wife and two children. Diagnosed with Takayama disease and myocardial infarction, has been visiting a nearby clinic for several years.). There's also a section for '受診までの経緯' (History of treatment) with text: '朝食をとったあとお茶を飲んでいたが、突然倒れるように椅子からずり落ちたので、妻が近くで救急車を呼んだ。意識が戻るまでの間、妻が呼びかけにも全く目を醒めなかったが、強く叩きあぶるが辛うじて目を醒めるという状態であった。' (After breakfast, he was drinking tea when he suddenly fell off his chair as if he had collapsed. His wife called an ambulance nearby. During the time it took for his consciousness to return, he didn't wake up at all despite his wife calling out to him, but he managed to wake up after being hit hard.) There's also a section for '診察・検査' (Examination and tests) with text: '前送りの時点では全身状態を思ふと、すぐに頭部CT（コンピュータ断層撮影装置）検査が行われた。' (At the time of admission, considering his overall condition, a head CT scan (computerized tomography) was performed immediately.)

横浜医療科学研究所と mediba は治療に向き合う人々の不安を少しでも軽減するとともに、医療者と患者が生老病死に立ち向かうイーブンパートナーとなれる未来を目指しています。

## 株式会社横浜医療科学研究所設立の想い

インターネットや本の情報など、様々な健康・医療情報が世の中に溢れていますが、その中から正しい情報を得ることが難しいのが現実です。そんな方々へ正確な健康・医療情報や予防医療情報をより身近なものとして提供してゆきたい。横浜医療科学研究所はこんな想いから始まりました。医療従事者との連携で正しい医療知識を基にサービスを提供してゆくことがわたしたちの使命であると考えています。心身ともにより元気で快適な毎日を過ごしていただけるよう、みなさまの暮らしに寄り添うサービスを実現してまいります。

### ■株式会社 mediba について (<https://www.mediba.jp>)

KDDI グループの一員として 2000 年に創業。au 関連サービス運営の他、国内外にてカルチャー・ゲーム・子育て等、幅広い分野でサービスを展開しています。「ヒトに HAPPY を。」を理念に掲げ、幸せをお届けする事業を作り続けてまいります。

【本件に関するお問い合わせ】

株式会社横浜医療科学研究所 君塚裕康

TEL: 045-787-2573 E-mail: [info@ymssi.co.jp](mailto:info@ymssi.co.jp)